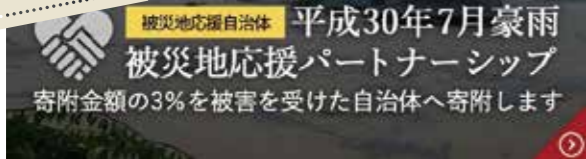


被災地
応援制度



寄付の3%を被災地へ
被災地応援制度に参加



今回の豪雨災害を受け、ふるさと納税の代行サイト「ふるさとチョイス」を運営するトラストバンクでは、被災地への継続的な支援のため、ふるさと納税を活用した新たな制度「被災地応援パートナーシップ」を創設し、境町も参加しています。

この制度は、パートナーシップに参画した自治体がふるさと納税制度を通じて集めた寄付金額の3%を「平成30年7月豪雨」で被害を受けた自治体へ寄付（8月31日まで受付）するもので、7月10日より開始され、被災地応援自治体は68自治体（8月1日時点）にまで広がっています。

被災地
応援自治体
68

（8月1日時点）

被災地応援
パートナーシップとは？

参画自治体は、特定の期間に限り
寄付額の3%が被災地へ送られます

境町ふるさと納税

被災地応援パートナーシップが適応される
7月10日～31日までの期間で
約**8,044万円**
の申し込みがありました。
うち**3%の約241万円**、
さらに8月1日～31日までに
集まった**申し込み金額の3%**が
被災地へ送られる予定です。

寄付の
3%を
被災地へ

従来の利用で
被災地支援が
できるんだね！



ふるさと納税の利用で
返礼品ももらえて被災地支援も
できる画期的な取り組みです



代理寄付への応援メッセージ

たいへんな災害で何か力になりたいと思ひ支援させていただきます。福島県在住なので、震災の時の支援のありがたさを身にしみていたので恩返しです。茨城県境町さんにも感謝を申し上げます。（2018年7月7日）

3年前の常総市の豪雨災害では皆様にお世話になりました。今回の被災、心よりお見舞い申し上げます。わずかながらお役にたてればと思います。（2018年7月7日）

西日本のニュースを見ながら遠方でも何もできずに歯がゆい思いをしていましたが、小さい頃から馴染みのある境町で代行して下さるのは心強くてありがたいです。役場の方々に感謝です。（2018年7月7日）

私も今回の災害で孤立した身として支援したいと思ひ、寄付しました。いち早く復興することを祈っています。（2018年7月8日）

代理受付ありがとうございます。地元を応援したいのでよろしくお祈りします。（2018年7月8日）

異常な豪雨で悲しい気持ちでいらっしゃるみなさんに少しでもお力になれるようにと思っております。境町のみなさんの動きが早くて素晴らしいと思ひます。（2018年7月8日）

熊本地震に引き続き、今回の自然災害への寄付呼びかけ及び受付事務代行に感謝いたします。些少ですが、間接的に応援させていただきます。（2018年7月8日）

被災自治体のため、境町職員の方が自治体同士としてこういう形で支援を行うのはとても素晴らしいことと思ひます。寄付が集中し大変かと思ひますが頑張ってください。私の寄付が被災された方の支援に少しでも役立ててくれればと思ひます。（2018年7月8日）

「ふるさとチョイス」より転載

職員の声



まちづくり推進課 ふるさと納税推進室
岩井 和彦 主事

関東・東北豪雨の経験を生かし
被災地に負担がかからない支援を

3年前の関東・東北豪雨では、大きな被害を受けた境町に、ふるさと納税を通して全国から約2,200万円もの多くの寄付をいただきました。しかしふるさと納税は、寄付して下さった方に対し、税控除に必要な証明書の発行事務が伴います。当時、「他の職員は復旧作業に当たっているのに、中にもって事務作業をしていいの？」と心苦しう担当職員もいました。

その後、熊本地震が発生した際、「被災地の担当職員がしなければならない、この事務負担を軽減できないか」とはじまった代理寄付による支援ですが、その経験を今回の豪雨災害にも生かすことができている。また、代理寄付を導入した自治体が増えたのも、被災地にとって非常に喜ばしいことだと感じています。

住民のケアや道路の復旧等に役立てていただくとともに、今後も継続的な支援が必要だと思ひますので、被災者のみなさんに寄り添う形で自分たちに何が出来るかをしっかり考えていきたいと思ひます。

代理寄付

全国に先駆けてふるさと納税の代理寄付受付を開始
寄付金は全額、岡山県倉敷市と広島県へ

境町を通して岡山県倉敷市、広島県に集まった寄付（8月1日時点）

2億851万7,331円（10,569件）

境町では、平成30年7月豪雨で被災した自治体にあてた「ふるさと納税」による寄付に伴う事務作業を、別の自治体が引き受ける「代理寄付」支援を実施しています。

被災自治体の事務負担を軽くし、被災者への対応や復旧に力を振り向けてもらうのがねらいで、平成27年9月に境町を襲った豪雨の被害にあった経験から、翌28年4月の熊本地震発生時に「ふるさとチョイス」を運営するトラストバンクと相談し、事務を代行する「代理寄付」の仕組みが生まれました。今回の豪雨災害を受け、その支援は27自治体（8月1日時点）に広がっています。

今回の豪雨では、被害が報道された7日にはいち早く代理寄付受付を開始し、岡山県倉敷市と広島県の事務を担っています。

皆様の支援を
被災地へ届けます

ふるさと納税
代理寄付受付中



平成30年7月豪雨に集まった寄付金

11億4,641万2,652円

直接寄付
5億4,665万71円

代理寄付
5億9,976万2,581円

うち約2億円が
境町の代理寄付



境町が最初にはじめ
全国**27**自治体
が代理寄付受付を実施

（8月1日時点）

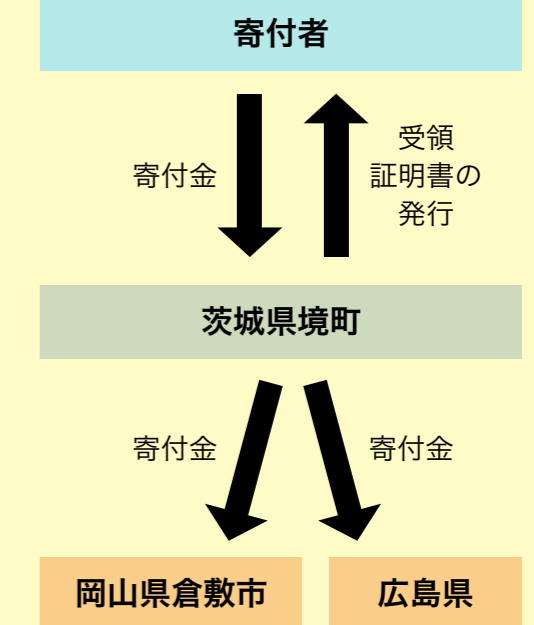


被災地応援うちわを制作し、7月14日の花火大会や21日の歩行者天国祭りで配布しました



ふるさと納税の代理寄付制度とは？

事務作業に追われる被災地の職員に変わって
事務を代行し、集まった寄付を全額届ける制度です。



発行事務を
境町が代行！



平成28年4月熊本地震では
代理寄付受付を行い寄付が
1億1,000万円に上りました